

昭和38年 常呂高校全日制普通科設置間もない頃の思い出

*注：昭和36年9月5日 常呂町議会において、昭和37年度から全日制設置の件を議決

11月30日 常呂高校整備計画第1期工事落成

普通教室 4教室 80坪

生徒玄関・廊下 132坪

計 212坪

昭和37年1月16日 全日制設置認可

4月10日 全日制普通科第1学年入学式

男子 66名

女子 43名

計 109名

9月 第1回学校祭開催（全日制第1学年と定時制合同）

10月20日 常呂高校整備計画第2期工事落成

屋内体育館完成

昭和38年4月 常呂高校生徒の制服が、男子は黒の学生服、女子はセーラー服

と正式制定

6月 屋外グラウンドおよび野球場の整備作業完了

8月30日 野球場バックネットおよびスコアボード完成

「第2回生のころ」（抜粋） 安田一明

「常呂高校四十年史」掲載

私が常呂高校の全日制第2回生として入学したのは、昭和38年4月でした。

全日制に移行してまだ日が浅いこともあって、校舎・体育館などの屋内施設は比較的整ってはいたものの、屋外施設のグラウンドなどは完工されておらず、体育の時間がある日ともなるとグラウンドコート造りのためのスコップ、鍬を携えて登校するのが日常茶飯事で、体育半分、グラウンドコート造り半分といった授業内容でした。

第1回生の先輩を初めとして、この登校風景が何回生まで続いたのかは分かりませんが、過日、改築過程にある校舎を見る機会があり、現在の完成しつつある施設を見るにつけ、スコップ、鍬を持った先輩、同級生が傍らにいるような錯覚を覚えました。

当時、私は籠球部に所属し、部としては私が入部した昭和38年から北見地区協会に登録し、公式戦への第1歩を踏み出したわけですが、1・2年生だけのチームでは体力・技術とも他校とは比較にならず、3戦して全敗の結果に終わりました。体力差を痛感した秋口からは、校舎・常呂駅から鑑沸に至る砂浜、そして岐阜を経由して校舎に戻る徹底した走り込みを行い、翌昭和39年「国体地区予選」において、延長戦の末、遂に念願の初勝利を得ることができました。（略）